



おめでとう

おはなし会ピノキオに 子育て応援元氣アップ賞

地域の子育てに貢献する個人や団体などを表彰する「子育て応援元氣アップ賞(県表彰)」が、おはなし会ピノキオ(楓るみ子代表)に贈られました。

同会は、平成七年から南淡図書館で児童や母親を対象に読み聞かせや人形劇などを定期的に開催し、親子が楽しく集まる環境づくりに貢献しています。

兵庫県表彰(敬称略)

◆自治賞

吉見哲二(市)
三原交通安全協会の支部長、理事として長年、安全で快適な地域社会の実現を目指し活動しています。

◆こうのとり賞

伊木陸侑・澄子(松帆)
地元小学生に対し夫婦で農業体験を指導し、食物の大切さなどを伝えていきます。
池田千代子(湊)
南あわじ市更生保護女性

機転と連携で人命を救う

人命救助にのじぎく賞を表彰

海に転落した人を救助

帰宅途中に誤って海に転落した女性を救助した八人と、漁港内で船から転落し

た男性を救助した二人に、兵庫県のじぎく賞が二月十四日、沼島出張所で伝達されました。

水没した車から人命を救助

一月十一日午前十一時ごろ、漁から帰った男性が沼島港内で係留しようとして誤って船から海に転落。船につかまっていたところを二人が協力して助けあげました。



▲女性を救助した濱邊平司さん、安達さん、前川さん、三宅さん(左から)
▲男性を救助した海部さん、早見さん(左から)

女性を救助して表彰を受けたのは、畠田源太郎さん、畠田絹子さん、濱邊平司さん、濱邊徳子さん、安達洋子さん、前川仁さん、三宅一幸さん。八人は一月七日午後五時三十分ごろ、沼島の海沿いの市道を帰宅中の女性が誤って海に転落し、溺れかかっていたところを発見、協力して救助しました。男性を救助して表彰を受けたのは、海部博行さん、早見永二さん。



▲のじぎく賞を受賞した高田さん親子(左)

交通事故で川に転落した車から女性を救助した高田弘さん(松帆)と長男の弘之さんに一月二十三日、兵庫県のじぎく賞が南あわじ警察署で伝達されました。高田さん親子は一月十三日の午後〇時五十分ごろ、自宅内の工場で作業中に車が衝突する音を聞き、入貫川(水深約一二メートル)に軽トラックが水没しているのを発見。二人は服のまま川に入り、協力して運転席で動けなくなっていた女性を救出しました。救急車を待つ間も毛布をかけ励まし続け、尊い命を救いました。また、二人には同日、淡路広域消防本部消防長からも感謝状が贈られました。

ミルクの島 淡路島の将来を駆け誕生

淡路島酪農協の設立式典



▲牛乳で乾杯し、新組合の門出を祝う出席者

三原郡酪農協と洲本市酪農協が合併して一月一日に発足した、「淡路島酪農農業協同組合」の設立記念式典が二月十四日、淡路島牧場で開催され関係者約百人が誕生を祝いました。

同組合は、組合員数八百三十五人、飼育頭数九千三百頭の酪農専門組合。松井睦機組合長は「六十年の長きに亘り、両組合が品種改良、乳製品の製造販売に切磋琢磨し、ミルクの淡路島を築いてきた。近年の高齢化や後継者不足、消費の低迷な

ど酪農を取り巻く環境が厳しく、生産施設の老朽化など将来を展望して組合を合併。新工場の建設に取り組み、生産物に付加価値を付けたい」と式辞を述べました。

中田市長も「合併の線上には新工場建設がある。消費者ニーズに答えられるよう、酪農家と行政がともに汗を流して頑張りましょう」と祝辞。

続いて、組合章をデザインした中野敦子さん(洲本市)と、組合愛称「おいしいミルクはAミルク」の愛称を考案した松下公美さん(南あわじ市)に記念品が贈られました。

手作りの望遠鏡で、土星の輪を観察

手作り望遠鏡組立て教室

天体観測に興味をもってらおうと、神代小学校天体観測ドーム再建準備会(木田徹代表)では、子どもたちを対象に「手作り望遠鏡組立て教室」を開催しています。

二月十二日、神代小学校工作室で行われた同教室では、親子四組が参加。レンズなどが入った工作キットをハサミや接着剤を使って組み立てました。

この望遠鏡の倍率は五十倍で、月のクレーターや木星、土星も見ることができます。組立て後、この望遠鏡を使い、土星(星団)と土星を眺めました。子どもたちからは「土星のわっかが見えた!」と歓声があがっていました。

なお、三月も同教室を開催しています。詳しくは、十九頁をご覧ください。



▲完成品(三脚は別)

▲望遠鏡を組み立てる参加者

言葉で遊ぶ留学生との交流

伊加利国際交流会の語学研修

伊加利地区の活性化を目指し、外国人との交流活動を行う伊加利国際交流会(西久保俊史代表)では2月17・18日の両日、伊加利公民館で交流会を開催し同会員ら約60人が参加しました。

交流会では、大阪YMCA日本語学校で学ぶ、留学生5人を講師に招きました。17日は、講師の母国にちなんだクイズで打ち解け、続いて韓国語と中国語に分かれて、会話や自己紹介などを学びました。18日には、同地区児童らと絵描きや料理を通じ、交流を深めました。



▲笑顔の講師と楽しい語学交流会

井上さんのヘルシー弁当が入賞

わくわくお弁当コンテスト

おいしいごはんを食べよう県民運動お弁当コンテストで井上鈴子さん(福良)の作品、「野菜たっぷり海鮮弁当」が兵庫農政事務局長賞を受賞しました。

昨年の「宝!の小箱弁当」に引き続き2年連続で受賞した井上さんは、「地元で取れる多くの種類の食材を使って、素材の味を生かしながら栄養のバランスに配慮しました。これからも、いずみ会の活動を通じて健康な食事の普及に取り組みたい」と意欲を語ってくれました。



▲ヘルシー弁当部門で入賞した「野菜たっぷり海鮮弁当」

会副会長として、青少年の非行防止、子育て支援などに取り組んでいます。

川口千代子(阿那賀)
南あわじ市いずみ会会員として、地域の食生活の改善に取り組み、健康づくりを推進しています。

清水正博(倭文)
南あわじ交通安全協会副会長として、協会の運営と交通安全運動に尽力しています。

武中みどり(灘)
南あわじ交通安全協会婦人部支部長として、交通安全運動に取り組み、指導しています。

谷口喜美(広田)
南あわじ市いずみ会緑支部副会長として、食生活改善や地域の活性化に取り組んでいます。

福永英美(市)
南あわじ市更生保護女性会会員として、青少年の非行防止、社会浄化などに取り組んでいます。

前田順子(福良)
福良漁協女性部区長として、海浜周辺の清掃活動と環境美化に取り組んでいます。

かもめ会(福良)
福良地区住民食生活改善教室や離乳食・幼児教室を開催、高齢者配食ボランティアにも取り組んでいます。